

## 令和3年第11回教育委員会定例会議事録

招集日時 令和3年11月30日（火曜日）午前10時開会／午前11時閉会

招集場所 加賀市民会館3階 15会議室

教育長 山田利明

出席委員 篠原隆一、山下裕嗣、佐野明子

会議列席者 梶谷事務局長、公下次長兼学校指導課長、宮永次長兼教育庶務課長、上出生涯学習課長、池端中央図書館長、  
山下山中図書館長、左古教育総合支援センター所長、田中スポーツ推進課長、重谷教育庶務課リーダー

令和3年第11回教育委員会定例会開会宣言

挨拶

○山田教育長 先日、加賀市の公民館大会がありました。そこで私がびっくりしたのは、獅子舞が120いくつ加賀市にあって、白い獅子は能登の方から移住してきた人たちが持ってきたとか、そういったルーツを調べられて本にまとめられている方がいらっしゃるということで、発掘すればまだ加賀市にはいろいろな財産があるんだなと思いました。聞くところによると、獅子舞は石川県が全国で一番多いところで、石川県の中でも加賀市が飛び抜けてあるということで、これを発掘すればまた大きな財産、観光資源にもなるのかなと思いました。

そして地域おこし協力隊が図書館に2名配属されておりますけれども、さっそく成果を出されているかなと思いました。フィルムを現像したのを見ると、ちょうど私が幼少の頃の風景が思い出される懐かしいアーカイブビデオで、上映会をすれば涙を流して見られる方がたくさんいらっしゃるんじゃないかなと思います。発掘したものをデジタル化して片づけておくのではなくて、いろいろな方に広く見てもらう活動もしていくと楽しいかなと思いました。

それから計画訪問ですが、先週東和中学校を最後に全部の学校を回り終わりました。コロナ禍で十分に回れなかった学校もありますが、昨年と比べたら学校の様子、一次懇談、研究授業、公開授業をすべてできて、学校の様子が昨年よりよくわかったかなと思います。去年は学校の様子が見えない部分があったんですが、課題も分かったし、先生方や子ども達の頑張りも見ることができました。今後は、見えた成果を応援する、そして課題が見えたところは改善するにはどうすればいいだろうかということで、来年の指導の方針みたいなものを決めていくことになるかなと思います。計画訪問がしっかりできてよかったです。

そして最後は土日に行なわれたロボレーブ加賀大会ですけれども、チーム数はやはりコロナ禍でどうしても絞らざるを得なかったということですが、来年もし世界大会が行われるとしたら、コロナ対策ということで、A B方式ですね。半分に絞って競技をする、あとの半分はギャラリーで観ているというような方式を初めて取り入れて、それが成功したかなと思います。あと私が驚いたのはロボットの進化です。ボールみたいに転がるロボットがあるんですけど、あれをうまくコントロールできるようになったら無敵かなと、ぜひ来年もできたらと思っています。その時はご協力をお願いしたいと思います。

それでは議件に入りたいと思います。本日審議事項は1件です。議案第30号、令和3年度12

月補正予算（案）について宮永次長お願いいたします。

- 議案第30号 令和3年度12月補正予算（案）について  
宮永次長 資料に基づき説明

○山田教育長 今年度の12月補正予算案について、割と詳細な説明があったかなと思います  
が、これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

○篠原委員 中学生の学力向上について、目的についてはよくわかりました。全国学力テスト  
での県の結果と比べたら、加賀市の中学校においては下回っているのは大変危惧しておりまし  
た。従来はいわゆるかも丸塾で、教育委員会の皆様が大変な努力をしていらっしゃるという  
ことも目にしておりますので、それでもなかなか学力向上が難しいということはいろんな理由  
があるんだろうと思っておりました。今回、非常に思い切ったといいますか、いわゆる民間の  
学習塾のご指導をあおぐと、要するに民間の方たちと手を携えていくというのは、東京の和田  
中学校の事例もありますけれども、和田中学校の場合は有料でしたね。今回は無料ということ  
で、いろんなところで危惧される面がありますので、いくつかお聞きしたいと思います。

まず募集人員のことです。募集人員は延べ150人程度と書いてあります。中学校は6校あり  
ますので、6校で割りますとだいたい2、30人ということですよ。では募集人員がオーバー  
したらどうするのかというのがまず1点です。

2点目は、講師の方は市内の進学塾による団体を作られて、その団体に業務委託されるとい  
うことであります。市内の進学塾はたくさんあると思います。その中でどのようなかたちで  
選定をなさっているのか、選定の基準を教えてください。例えばそれは進学塾の方に丸投げな  
のかということも併せて教えてください。

3点目です。今年度は300万円ですから大きな予算ではないですけれども、先ほど今後も続  
けるのかということをお聞きしましたら、次年度以降もこれを継続していきたいというお話で  
した。そうなってくると今後は民間の進学塾に対して、加賀市が公に無料でこういうことをす  
るわけですから、いわゆる民業圧迫にならないのかということをお聞きします。以上3点を教え  
ていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

○山田教育長 公下次長、お願いします。

○公下次長 まず1点目の人員が増えたときですが、かも丸塾では本当に基本的な部分での学  
習をしております。それはそのまま残していきまして、今回はどちらかというと、中間層のも  
うひとつ力をあげていきたい子達を中心にしていきたいと思っております。定員を超えたとき  
の分に関しては、会場の状況もあると思いますが、可能ならば部屋を増やすとか、あるいは団  
体の方と協力しながらどこまで講師の方を増やしていけるかという、希望者ですので、どれだ  
け来るかはまた調整して対応していきたいと思っております。

2点目の講師の選定についてですが、進学塾の中で全体にお声掛けをしまして、事業の内容  
をお伝えした中で、どれだけ塾の方から派遣の協力をしてもらえるかとか、こちらからの条件  
を踏まえながらお伝えをしていって、その中で手を挙げていただけたところに協力をいただく  
こととなります。決して丸投げではなくて、当然市教育委員会の方も中に入りながら様子を確認  
していきながら調整はしていきます。本当にまだ準備段階で、今回はどちらかというと実証

していきながら、来年につなげていきたいと思っております。

3点目の次年度に向けてですが、2月3月の様子を見ながら改善をしていって、そこで上がってきた問題は解消していこうと思っておりますが、民業圧迫にならないように、例えば時間帯を民営の塾の時間の圧迫にならないように考えると、あるいは無料でやる上でのことです。どれだけの人数が集まるかということもありますけれども、そこは塾とも話をしながら、当然、そこを担ってもらう塾の先生が、塾の中で子どもを引っ張り合うとか、そういうことが絶対にないようにということもルール化しながらそこは進めていきたいと思っております。

○篠原委員 ありがとうございます。募集人員については増えたら増えただけの会場を用意するというお話でした。今一番心配をしているのが、たくさん希望者が来ると思うんです。本人が言わなくても保護者の方が今まで塾に行っていたけれど、今度、教育委員会で無料で塾の先生が見てくれると、そうしたら今の塾を辞めるんじゃないかと。辞めて市の公営塾へ行こうということにならないかということをお心配しております。ものすごくデリケートな問題が出てきますので、希望者は全員受け入れるというお話でしたけれども、心配な点があると思います。今年度は300万円という金額なので、2月3月に中学2年生だけ対象ということですが、将来的には例えば1年生もするとか、3年生もするとどんどん規模が膨らんでいきますよね。そうすると本当に加賀市内で塾を運営されている人の運営を圧迫することにならないか非常に心配しております。進学塾の団体の方と市教育委員会と十分に協議していただきながら、保護者としては大変助かりますけれども、そういうことが起きないようにくれぐれもお願いをしたいと思っております。

○山田教育長 他、ございませんか。

○山下委員 関連して、これは2月3月で試験的にやると思うんですが、YouTubeなんかを見ていると、いろんなNPOの広告が入ってくるんですね。多く見られるのが、見えない子どもの貧困に寄付をお願いしますというのが出てきます。その情報によりますと、子どもの7人に1人は貧困だという情報があったりします。山中は塾率が高いんですが、行きたくても行けないような方々に対して、優先的に塾に行く代わりに行ってくださいという方法がとれるものなのか、どうなのか。そこまで踏み入ることはなかなかできないと思いますが、PTA等とも相談して、次年度から本格的に進めるような、そんなことも考えられたらいいのかなと思えました。

○山田教育長 公下次長、お願いします。

○公下次長 今回、資料に学年が書いてなかったんですけど、この2ヶ月間は中学1年生と2年生を対象にしようと思っております。中学3年生はもう受験対策にはいってしまっていますので。特に今回の学習内容は回数的にも、塾と同じようなかたちにはなかなかできないと思います。どちらかという学校の授業の予習や復習の部分でのポイントを絞った補助的な部分になりますので、各進学塾でやっている濃い中身のサポートはできないと思いますが、勉強の手助けをしながら、学習習慣をつけるという部分での指導を大きく含めていきたいと思っております。また山下委員さんが言われたように、塾がある環境の地域もありますし、逆に地域に塾がまったくないというところもありますので、例えばそういった塾になかなか行かせられない、あるいはその場がないというような子達の優先とか、そういう方法も検討していきたいと思っております。

○山田教育長 そのための2ヶ月の試行ということですね。他、ございませんか。

○篠原委員 デジタル図書館についてお伺いいたします。今年度は560万円という額でございます。他市でもあちこちでデジタル図書館が開設されるということを知り、加賀市でもまだかなと思っておりましたので、大変有難いことだと思っております。ひとつお願いがあります。マイナンバーカード等を使ってやられるということで大変便利になるということだと思いますが、いわゆる一般市民の方への周知をきめ細やかにしていただきたいです。加賀市はスマートシティということを全面に押し出していますので、このようなことはもっと加賀市が先導的にやってもいいことかなと私自身は思っておりました。もし可能であれば、来年度はもっと大きな予算でデジタル図書館の充実を図っていただきたいということも重ねてお願いをしたいと思います。

○山田教育長 池端館長、お願いします。

○池端館長 周知につきましては大きな課題で、広報かがをはじめてましてホームページ等でも、なかなか市民の皆様に伝わらないというのが現状だと思います。図書館から積極的に情報を出していくということを考えて周知していきたいと思っております。予算の方については、今回は1,000冊分の本を用意するということですが、他市を見ても最低でも2,000冊程度というところが多いので、来年度にはあと1,000冊は増やしていきたいと思っております。そしてその次もというふうに充実をさせていきたいと考えております。

○山田教育長 他、ございませんか。

○山下委員 中学校費で、部活動指導員の欠員による不用額、200万円余りの減額がありました。部活動の指導員の先生方の負担の軽減等を常に言っておりますけれども、現状は実際に欠員でいないのか、それとも今コロナでできなかったのか教えていただきたいと思っております。

○山田教育長 公下次長、お願いします。

○公下次長 欠員という部分は、指導をされていた方がお亡くなりになりまして、それで欠員となりました。そのあとその部分での補充の相談をしましたところ、学校の方でボランティアでやっていただける方がいらっしゃって、今回この指導員というかたちでの対応はしませんでした。そちらでの補充はしております。そういう点での欠員が1名となっております。

○山田教育長 他、ございませんか。

○篠原委員 東和中学校改築・改修工事に伴う仮設校舎建設事業についてお伺いいたします。2億4,500万円という大変大きな額で、仮設はこのくらいかかると思うんですが、これは改築になりますよね。昭和39年の校舎を完全に壊して、そして昭和56年と62年の校舎は改修するということだと思います。改築ということになれば、私は以前に何校か校舎改築に関わりましたけれども、そのときは、錦城中学校にしる、あるいは湖北小学校、橋立小中学校、金明小学校にしる全部別のところに改築の建物を建てていました。なぜそういうことをしたかという、やはり仮設校舎は何億円とかかるといってお聞きしたからです。ですからなぜ今回だけ東和中学校は仮設校舎をここに作らないといけないのか、非常に私は疑問に思います。2億円というお金は結局あとで壊されて使えなくなって捨ててしまうわけですよね。ですから2億円のお金があれば他に何でもできるなと素朴に思っているわけです。今回はもうスケジュールも立って、入札等に入っていくんだらうと思っておりますので、それを変えることは難しいんだらうと思っておりますが、なぜ実施設計のときに、今のグラウンドのところに新しい校舎を作るとか、

そういうことを考えなかったのかと。なぜ2億5,000万円弱のお金を捨てなくてはならないような、こういうふうな計画をしなければならないのか、非常に私自身は疑問に思っております。意見として述べさせていただきました。

○山田教育長 何か事務局側からご説明はありますか。

○宮永次長 当初の計画でわからない点はあるんですけども、やはりまだ使用できる新しい校舎の棟を利活用するというので、2億円はもったいないというお話ではあるんですけど、新しい校舎も古い校舎も全部壊す費用と比較した中での結論になってくるのかなというところと、あと新幹線がグラウンド側に通っているということで、グラウンドの整備は終わりましたけれども、そういった中で最終的に今の場所が望ましいということも踏まえてこういったかたちになったのかなと思います。確かにこの期間だけ使ってすぐに壊してしまうのはもったいない気がするんですが、やはりすべて壊して立て直すよりもというところの比較はあったのではないかと思います。

○篠原委員 いろんな設計上の問題等を踏まえて、やむを得ない措置だったと思いますけれども、やはりこれから山代小学校とかいろんなところで校舎が古くなって改築、あるいは移転なども考えなくてはいけないところが多くなってくると思います。そのときにはぜひこのようなことがないようにしていただきたいです。やはり市民の大事な税金ですから考えながらやっていただきたいです。グラウンドが先に新幹線整備できれいになって、そこに新しい校舎を作ることにはなかなか難しいと思いますし、いろんな諸条件が重なって、どうしても今回は仮設にならざると得なかったんだということも推察されますが、今後このようなことがないようにぜひお考えいただきたいと思っております。以上です。

○山田教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

それでは議案第30号、令和3年度12月補正予算(案)について賛成の方は挙手をお願いします。

○委員 全員挙手

○山田教育長 全会一致で可決といたします。

以上で審議事項は終わりました。続いて報告事項に入ります。

報告第60号、加賀市立小中学校の卒業式への出席について公下次長お願いいたします。

- 報告第60号 加賀市立小中学校の卒業式への出席について  
公下次長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。

続きまして報告第61号、加賀市立小中学校の入学式への出席について公下次長お願いいたします。

- 報告第61号 加賀市立小中学校の入学式への出席について  
公下次長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。

続きまして報告第 62 号、「加賀温泉郷マラソン 2022」の参加申込状況について田中課長  
お願いいたします。

- 報告第 62 号 「加賀温泉郷マラソン 2022」の参加申込状況について  
田中課長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

○山下委員 当初から 3,000 人の枠はすぐにいっぱいになるであろうということでございま  
した。結果として 10 キロはそんなに多くないんですね。密にならないとかいろいろなことを考  
えていると思うんですが、今、フルマラソンを走りたいと遠方から来られる方が多いと思いま  
す。そういう方々が加賀温泉郷マラソンよかったなと広めてくださったり、魅力発信にもつな  
がると思います。10 キロはおそらく地元の方が多かったと思います。その辺を少し入れ替える  
とか、10 キロを減らしてフルマラソンを増やすようなことも検討していただけたら有難い  
という意見でございます。

○山田教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

以上で報告事項は終わります。その他ということで、この際ですから委員の皆さんから何か  
ございますか。

○篠原委員 教科担任制のことについて、現状と今後の見通しについてお伺いしたいと思いま  
す。1月の中央教育審議会の答申を受けて、有識者会議の中で検討を重ねて、いわゆる来年度  
から実施が決まったというふうにお聞きしております。狙いは4つあって、教科担任制として  
は、教師の指導力と児童の学力の向上、複数の教師が関わることで多面的に児童を見ること  
ができる、小学校から中学校にあがったときに馴染めない、いわゆる中1ギャップの緩和、教員  
の働き方改革、この4つが狙いとして挙げられているとお聞きしております。文部科学省は英  
語と理科と算数と体育を5、6年生から教科担任制にしていってほしいという意向だとい  
うことですが、加賀市では現状はどのようなかたちで試行、トライアルをしているのか。次年度  
から完全実施になるんだと思うんですが、そのための方策としてはどんなかたちでやってい  
くのか。もうあと3ヶ月余りしかないという状態なので、各学校にもこのようなことをきちん  
と周知しなければならない時期になってくると思っております。そのことについての今後の  
ロードマップみたいなものがありましたら教えていただきたいと思っております。

○山田教育長 公下次長、お願いします。

○公下次長 まず石川県の方では先行的に実施されておりますので、国とは違いまして、教科  
的には全教科の中で石川県全体では取り組んでおります。今すでに学校にも入っていますけ  
れども、篠原委員がおっしゃるように来年からは文部科学省の方の教科担任制、県との話  
の中で、文部科学省の方からもう少しきちんとしたかたちというのは、今後12月以降に  
ということでは県から指示されています。ただ石川県の方はこれまで先行でやってきた  
石川県の教科担任制プラス文部科学省の方を併せて実施していく方向でいるというこ  
とは聞いておりますので、今のところは二つ併せたかたちでということでは体制を整  
えていきたいと思っております。

○山田教育長 加賀市の現状はどうですか。

○公下次長 今、何校でどれだけというのは資料を持ち合わせておらず申し訳あり  
ませんが、

大きな学校の5、6年生で入れております。教科の持ち合いというかたちで入っている状況であります。

○篠原委員 12月に入ってからというお話ですが、もうあまり時間がないので、次回でも結構ですので、加賀市では現状これだけの学校が先導的に試行しているということの実情を教えてください。大きな学校だと比較的教科の入れ替えなどが可能ですが、加賀市ではほとんど単級の学級ばかりですよね。そのときにはどうしたらいいのか。そのためには基本的には新しい先生を入れないといけません。あるいは専任の先生を入れないといけません。ですが、単級で英語の専任の先生を入れたってほとんど授業時間がないですから、他の学校と複数配置するとか、いろんなことを有機的に考えていかないとはいけません。そういうことも踏まえて、来年度の予算編成にも十分に関わってくると思うんです。例えば国単、県単でなければ市単でしないといけません。ですからそのようなことも全部考えていただきながら、この教科担任制をぜひ進めていただきたいです。これを進めていくことによって、いわゆる学級の壁というものなくなって、子ども達を複数の先生方の目で見てもらえる、あるいは文部科学省の方から4つの狙いが示されておりますけれども、中1ギャップが緩和されていくなど、いろんな点で良さがあると思うので、特に我々が現職の時代に4・3・2制が叫ばれていた時期があったんです。そういうことが現実的に見えてくるんじゃないかなと思いますので、国待ち県待ちではなくて、市として積極的に導入できるような体制を作っていただきたいと思っております。これはお願いであります。

○山田教育長 公下次長、お願いします。

○公下次長 今入っている学校に学校訪問のときなどにお聞きしますと、授業準備、教材準備の点も踏まえて、先ほどの文部科学省からの狙いもありましたが、そういった部分で先生方の手ごたえは良いということは聞いております。

○篠原委員 ありがとうございます。ぜひ具体的に進めていただきたいと思います。

○山田教育長 他、ございませんか。

○山下委員 橋立は小中同じ校舎で、教科担任制ではないですけど、中学校の先生が小学校で英語を教えたりすることはあったかと思います。現状、それが増えているという話は聞いていますか。

○山田教育長 公下次長、お願いします。

○公下次長 以前よりも増えている状況ですけど、どうしても配置された教員によって、小学校と中学校での課題はあるんですが、こちらについては今年もずっと小中の持ち合いの流れは継続されていますし、教科の中ではその流れはできています。声を聞くとやはり小学校から中学校への連携についてはすごく良いと聞いています。こちらは進んでいる状況です。

○山田教育長 他、ございませんか。

○篠原委員 図書館についてお願いいたします。前回のときにコロナがだいぶ落ち着いてきたので、開館時間をというお話がありましたよね。図書館のお知らせを見ましたら、12月から中央図書館は9時から18時になるということで大変有難いと思います。山中図書館の開館時間は10時から18時までとそのままでしたので、何か理由があれば教えていただきたいと思います。山中地区の方には不便をかけることになりますので。

○山田教育長 山下館長、お願いします。

○山下館長 条例に定められました図書館の開館時間は、中央図書館が9時から19時、山中図書館が9時から18時ということで、中央図書館よりも元々1時間短く設定されております。ということで今回もどうしようかという話はあったんですが、実際に朝10時の開館時間に前で待っていらっしゃる方がいらっしゃらないということと、それと実際に延ばしてほしいというお声も特にいただいておりません。そしてやはりこれからの時期を迎えまして寒くなると足元の方もよくないので、そういったことであえて延ばすよりも両館とも通常より1時間短くというかたちでとりあえずは今年度はいこうかなというふうに考えております。また暖かくなりましたら検討していきたいと思っております。あと人手が足りず、コロナの対応等でできないというのが実情です。

○篠原委員 山中地区の方のご不便も解消していただきたいとは重々思っておりますので、また山中地区の皆さんのご意見もお聞きになってください。

○山田教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

それでは次回教育委員会定例会日程について宮永次長お願いいたします。

● 次回教育委員会定例会日程について

宮永次長 説明

○山田教育長 それでは12月23日木曜日、午前10時からということで予定に入れておいてください。この際ですから委員の皆さんから何かございますか。よろしいですか。

それでは以上で第11回教育委員会定例会を閉会いたします。

御苦労さまでした。

以上、会議の顛末を記載し、会議録を作成する。